



先月東京ビッグサイトにて開催された
INNOVATION EXPO 2023の最新情報ルポ！
ロボット自動化は今後どう変化するのか？
最新トレンドを生々の声でお伝えします！

今だからこそ 自動化！ in OKAYAMA

プロロジスは岡山県早島エリアにおいて

2025年、先進的物流施設「プロロジスパーク岡山」の
開発を予定しています。

この度、そのプレイベントとして、岡山市にて

「今だからこそ 自動化！ In OKAYAMA」を開催します。

倉庫DX化を推進する物流業界大注目のGaussy株式会社

代表取締役社長 中村遼太郎氏をスペシャルゲストとしてお招きし

物流効率化を目指す自動ロボットの最新トレンドや自動化の実例などをご紹介します。

リアルな情報に直接触れられる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。



参加費
無料
予約制

開催日時/場所

2023
10.19 木

[時間] 14:00～16:00

[会場] コンベックス岡山2階 中会議室6
岡山市北区大内田675番地

[定員] 20社(先着順) 【対象】 物流関連企業様
メーカー・荷主企業様

ゲストスピーカー



【講演内容】

**倉庫ロボットは
ついに普及期へ。
自動化のススメ**

Gaussy 株式会社
代表取締役社長 中村 遼太郎氏

【プロフィール】

2009年、三菱商事入社後、中国物流企業への投資業務を行う。その後、三菱商事ロジスティクスに出向し、中東中央アジアの物流事業の運営、新規営業に従事。2015年以降、三菱商事にて新規事業開発担当としてシリコンバレーへの派遣後、海外スタートアップ投資及び倉庫ロボット Roboware事業、倉庫シェアリング WareX 事業を立上げに参画。2021年、三菱商事の新設子会社である Gaussy 株式会社の設立に伴い、同社より倉庫産業 DX 事業を譲受し、現在に至る。

プログラム

14:00～ 開催挨拶 (プロロジス)

【メインセミナー】

14:05～ ソリューションプロバイダーとしてのプロロジス
講演1 プロロジス 高橋 健太



14:35～ 倉庫ロボットはついに普及期へ。自動化のススメ
講演2 Gaussy 株式会社 代表取締役社長 中村 遼太郎氏

15:05～ プロロジスパーク岡山プロジェクトの紹介
プロロジス 永谷 裕児



15:30～ 相談会

16:00 終了

お申込は
こちらから

【締切日】

2023
10.12(木) 17時



主催



協力



お問い合わせ先

プロロジス 開発部 (担当:永谷・小林)

Tel 06-7664-9001 E-mail pldnews@prologis.co.jp



西日本エリアの代表的な物流ハブ

2025年「プロロジス岡山」誕生

施設の特徴

中四国エリア全域をカバーする物流ハブ
 2024年問題の切り札となる立地
 24時間・365日稼働可能
 BCP(事業継続)、雇用確保の面でも優位性が高い
 さまざまな業種・用途の物流需要に対応するマルチテナント型施設
 パース部分は一部両面パース、低所パースを採用
 1階床荷重は2.0t/m²と飲料等の重量物対応にも優位

プロロジスパーク岡山

所在地：岡山県岡山市北区

階数：地上4階建

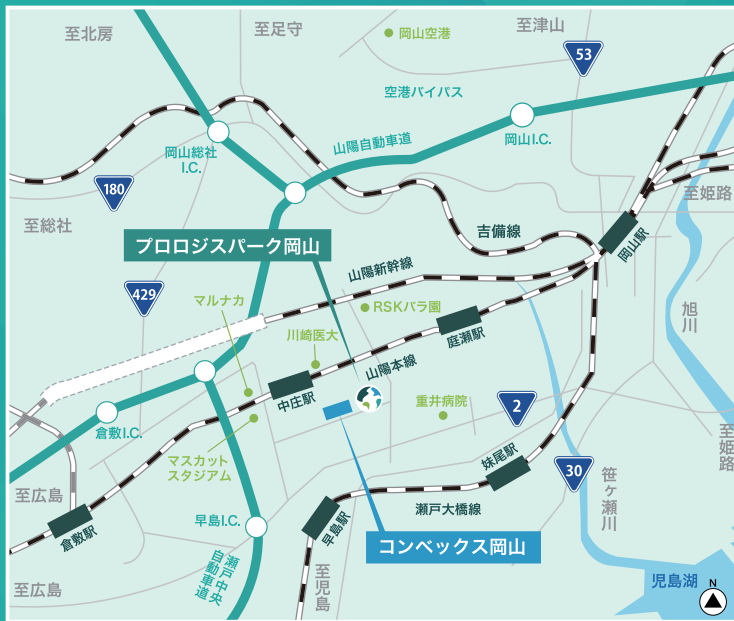
敷地面積：16,609m² (5,024坪)

延床面積：34,954m² (10,573坪)

着工：2024年5月

竣工：2025年6月予定

会場までのアクセス



東く岡山・備前・玉野・津山)方面からお越しの方

1. 国道2号線ご利用の場合
 妹尾西の交差点付近からは一番左側の車線(片側3車線)に入っておき、『CONVEX岡山』の看板を目印に左側道へ入る。その後2号線の上を横断する橋を右折し北進。
2. 旧国道2号線ご利用の場合
 『←CONVEX岡山』の看板を目印に、岡山市から倉敷市に入った直後の信号「流通センター入口」を左折南進。

西く倉敷・児島・笠岡・高梁)方面からお越しの方

1. 国道2号線ご利用の場合
 『←CONVEX岡山』の看板を目印に、早島中交差点を左折北進。
2. 旧国道2号線ご利用の場合
 『CONVEX岡山→』の看板を目印に、『マルナカ マスカット店』の東側に位置する松島交差点を右折南進。

高速道路をご利用の方

『山陽自動車道』『瀬戸中央自動車道』を利用する場合
 早島インターから2号線「岡山方面」に降りていただき、約500メートル東の早島中交差点を左折北進する上記(3)のコースとなります。

■ プロロジスについて (www.prologis.co.jp)

プロロジス(日本本社：東京都千代田区丸の内、代表取締役会長兼CEO：山田 御酒、世界本社：米カリフォルニア州サンフランシスコ、NYSE:PLD)は、物流不動産のリーディング・グローバル企業として世界19カ国で事業を展開しています。2023年6月末時点で、計約11,400万m²の物流施設を所有・運営・開発し、3PL、物流、小売、eコマースなど、約6,700社のカスタマーに最新鋭の物流施設をご利用いただいています。日本国内ではこれまでに112棟、総延床面積約776万m²の物流施設を新規開発し(開発中を含む)、現在79棟、総延床面積として約586万m²の物流施設を運営および開発中です。また、約30万m²の物流施設の開発用地を所有しています。今後もお客様へのよりよいサービスと、環境に配慮したサステナブルな、物流の効率化に貢献するための最新の物流施設を世界各地で展開してまいります。